ELECのあゆみ

※各項目の名称・肩書等は当時のものです。

1950年代

1955年

英語教育に関する非公式会議が開かれる

1955年8月5日。東京・麻布にある国際文化会館にて、わが国の英語教育の進歩と改善についての構想がまとめられました。出席者は齋藤勇(東京帝国大学名誉教授)、高木八尺(東京大学名誉教授)、松本重治(国際文化会館専務理事)、E.O. ライシャワー(ハーバード大学教授)。この会談がELEC設立へとつながっていきました。

英語教授法に関する臨時委員会の創設

上記会談のあとをうけて、11月18日、Temporary Committee on English Teaching Method(英語教授法に関する臨時委員会)が創設されました。出席者は市河三喜(東京大学名誉教授)、上代タノ(日本女子大学学長)、豊田実(青山学院大学初代学長)、高橋源次(明治学院大学教授)、中島文雄(東京大学教授)、黒田巍(東京教育大学教授)、服部四郎(東京大学教授)、G.ポウルズ(東京大学客員教授)、宍戸良平(文部書教科調査官)、清水護(国際基督教大学教授)など。1956年4月28日まで会議は13回におよび、熱心な審議の結果、「日本英語教育研究委員会」を創設し、英語教育専門家会議(The Specialists' Conference)を開催することが決まりました。

1956年

日本英語教育研究委員会創設
(The English Language Exploratory Committee,略称ELEC)
会長:新木栄吉(日本銀行総裁)

連合国軍による敗戦後の占領が終わり、日本が国際社会への復帰に向け歩み始めた1956年(昭和31年)7月27日、国際理解とコミュニケーションのための英語教育を促進すべく、日本の財界、教育界有志により日本英語教育研究委員会(略称ELEC)が発足しました。その6年間にわたる研究と実践を基盤として1963年(昭和38年)2月、文部省認可団体として、財団法人 英語教育協議会が設立されました。

▲日本英語教育研究委員会
初代会長:新木栄吉

英語教育専門家会議
(The Specialists' Conference)開催

1956年9月3〜7日。日英米3国の専門家からなる英語教育専門家会議(The Specialists' Conference)がELECの主催により開催されました。この会議の成果は「結論と勧告」の形にまとめられ、これがELECの事業を進めていく上で重要な指針となりました。

1957年

第1回ELEC英語教育研修会開催

当時、日本の中学・高校では約6万人の英語科担当教員が1000万人の生徒に英語を教えていると言われていました。この教員に対して専門的な現職教育を行うことを目的として、ELECは教員の夏期休暇を利用して「夏期講習会」を開催しました。この講習会が現在まで続くELECの主要事業となっています。この頃の研修会の多くは、外国人講師と受講者とが起居を共にする合宿制で、その学習効果は極めて高く評価されました。

▶第1回ELEC夏期講習会の授業風景(1957年8月、東京・港区六本木の東洋英和女学院短大にて)

1960年代

1961年

『ELEC Bulletin』
(後の『英語展望』)創刊

1961年4月にELECの活動報告と最新の英語教育情報を提供する機関誌として『ELEC Bulletin,No.1』が創刊されました。(1971年に『英語展望』に改称)内容としては言語学と英語教育の専門的な論文に加え、国際理解に関する論考も積極的に取り上げ、日本の英語教育への指針提示を目指しました。

1962年

中学教科書『New Approach to English』発行

ELEC同友会発足

年を追って教員研修会修了生が増加し、その情報交換と親睦のために「ELEC同友会(ELEC Friends Association)」が発足しました。

1963年

財団法人英語教育協議会設立
(The English Language Education Council, Inc.
略称ELEC) 初代理事長:
竹内俊一(三菱石油会長)

フルブライト日本人留学生のための特別英語講習会開催

1965年

ELEC会館落成

事業活動の拠点として、ELEC会館が1965年1月に完成しました。当時の都電「専修大学前」至近で、地上7階、地下1階のビルでした。ビル内にはLL教室、録音室、図書館、講堂、西洋料理レストランなどの設備がありました。

皇太子殿下の英語後研修のために外国人講師を東宮御所に派遣

宮内庁の要請により、ELEC外国人専任講師Ernest A. Richterが毎日東宮御所に伺い、任にあたりました。ELECの英語学習法によりご研修になりたいとの殿下の思召しによるもので、1年5か月にわたって行われました。

1966年

ELEC賞制定

1966年に英語教師の研究推奨と実践の共有化を目的にELEC賞が制定されました。

1967年

ELEC奨学金による文部省後援の英語科教員春期研修コース開始

1969年

英語教育における
VTRの利用実験研究

英語教育における
演劇の利用実験研究

1970年代

▲『ELEC Bulletin』と『英語展望』。通巻122号が発行されました

1972年

ミシガン州立大学と
契約して
英語教員を対象とした
海外英語研修開始

1974年

平泉渉氏を招聘し
試案をめぐる
パネルディスカッション
開催

1975年

酒井杏之助
(第一勧業銀行相談役)が
第2代理事長就任

◀1965年1月、東京・千代田区九段下に竣工したELEC会館

1977年

ELEC日本語教師
養成コース開設

国立国語研究所日本語教育センター日本語教育研究室長・水谷修氏を顧問として、系統的に日本語を外国人に教授する教師養成のための講座「日本語教師養成コース」を開講しました。

▼文部科学省後援のELEC夏期英語教育研修会の講義風景(2023年8月)

1980年代

1980年

松本重治
(国際文化会館
理事長)が
第3代理事長に就任

1989年

沖縄県教育委員会の
依頼によりAET
(外国人指導助手)の
研修を行う

▲高度な技術を持つ専門エンジニアを擁し、教材録音に圧倒的な強さを持つ録音スタジオ

1990年代

1990年

本間長世(東京大学
名誉教授)が
第4代理事長に就任

1991年

清水護(国際基督教大学
名誉教授)が
第5代理事長に就任

英語教員及び
大学生を対象とした
「英語教育セミナー」を
開設

1995年

神田錦町にある
神田中央ビルへ移転

ホームページ開設

完全デジタル
録音スタジオを設置

外国語教材作成全般に対応できる高機能録音スタジオを設置し、英語教育推進団体や出版業界のニーズに応え、今も高い評価を得ています。

2000年代

2002年

小笠原敏晶
(ジャパンタイムズ/
ニフコ会長)が
第6代理事長に就任

2003年

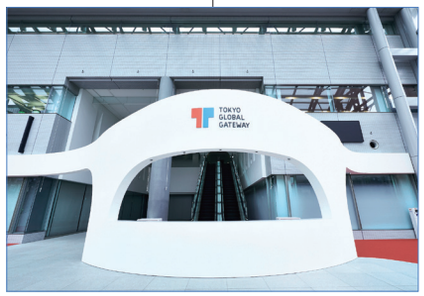
「『英語が使える
日本人』の育成の
ための行動計画」
(文部科学省)に基づく
教育委員会主催
英語教員悉皆研修を
5年間にわたり実施

東京都教育委員会より
委嘱された
英語科教員対象の
「キャリアアップ研修」
実施

▲文部科学省の協力を得て、2012年7月にELECが運営を開始した英語教員向けのポータルサイト「えいごネット」

2005年

文部科学省より
委嘱された
「英語指導力開発
ワークショップ」支援
事業開始



▲一歩館内に入ると、まるで海外に行ったかのような没入感のある施設と、外国人イングリッシュスピーカーとのオールイングリッシュでのコミュニケーション体験が人気のTokyo Global Gateway

2010年代

2010年

小池生夫(慶應義塾大学・明海大学
名誉教授)が第7代理事長に就任

神田中央ビルから同じ神田錦町の
コンフォール安田ビルへ移転

2011年

文部科学書が設置した
「外国語能力の向上に関する検討会」
に民間代表委員として参加

新学習指導要領の施行に基づき、
小学校の現職教員への
支援活動開始。小学校英語教育
ワークショップを開催

2012年

財団法人から一般財団法人に移行

英語教育ポータルサイト
「えいごネット」開設

2011年、「外国語能力の向上に関する検討会」の報告書で提案された英語教育ポータルサイトの開設に関し、文部科学省よりELECに協力要請がありました。ELECとして、新規の公益事業として取り組むこととし、2012年7月にサイトが正式にオープンしました。全国の中学校、高等学校の英語教員を中心に予想を超えるアクセスがありました。

2013年

CEFR(欧州言語共通参照枠)と
第2言語習得理論に基づく
英語指導メソッド
「ELECアプローチ」の開発

ELEC Approachとは、SLA理論に基づく提示(Presentation)、理解(Comprehension)、実践(Practice)、および生産(Production)のPCPPと呼ばれるプロセスを使用し、目標言語で授業を進め言語習得を目指すELEC独自の教授法です。

2014年

草原克豪(拓殖大学名誉教授)が
第8代理事長に就任

2015年

ELEC英語教育賞制定

英語授業改善のための
専門家派遣事業
「ELEC出前研修」スタート

ホームページ上で
「ELEC通信」スタート

2018年

東京都教育庁が推進する
「東京都英語村」事業に参加。
東京・江東区に「Tokyo Global Gateway」開業

2020年代

2022年

赤阪清隆(元フォーリン・
プレスセンター理事長/
元国連広報担当
事務次長)が
第9代理事長に就任

2023年

コンフォール
安田ビルから
同じ神田錦町の
NMF竹橋ビルへ移転

ELEC英語教育
研究所設立

2023年4月、ELECの保有する膨大な英語教育資産を利活用し、日本の英語教育に関する研究・提言を行うとともに、国内外の教育機関と連携をして日本人の英語能力向上のための情報を発信することを目的として、「ELEC英語教育研究所」がスタートしました。

これからも、ELECは
日本の英語教育のために力を尽くします。